

1. <施策の概要>

基本理念	地域の連携による健康・福祉・子育て支援のまちづくり	統括課	健康福祉環境部 福祉課
基本方針	地域福祉		
施策名	高齢者支援	関連課	
方針・目標等	◆高齢者の社会参加促進。 ◆在宅介護の重視。 ◆福祉サービスの充実。 ◆バリアフリーの推進。		
実施内容	◆要介護高齢者とその家族の自立生活支援。 ◆認知症のある人とその家族の自立生活支援。 ◆介護サービス提供体制の確保。 ◆地域介護支援体制の構築。 ◆高齢者の社会参加促進。 ◆介護予防事業。 ◆世代間交流の促進。 ◆権利擁護対策の推進。		

2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	高齢者人口(65歳以上)	名			人口			
②	要介護(支援)認定者率	%			認定者率			
③	老人クラブ会員数	名			会員数			
④	2次予防対象者率	%			対象者率			
⑤	シルバー人材センター受託契約金額	千円			金額			
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		5,760	5,996	6,126	6,145	6,500	6,800
	実績		5,760	5,996	6,126	6,145		
②	目標		15.0	15.2	16.2	16.2	16.5	17.0
	実績		15.0	15.2	16.2	16.2		
③	目標		2,361	2,385	2,361	2,371	2,380	2,400
	実績		2,361	2,385	2,361	2,371		
④	目標		3.0	2.1	3.7	23.4	23.5	20.9
	実績		3.0	2.1	3.7	23.4		
⑤	目標		-	-	118,714	123,742	125,000	130,000
	実績		-	-	118,714	123,742		

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・老人クラブ会員数においても、約半数がクラブ会員ではないのが現状である。それだけに、まだまだ現役の働き盛りと考えている人が多いのかどうかを検証する必要がある。

・また、雇用の面では、シルバー人材センターを中心に、年々、会員数や収益が増え、順調に事業成果が表れている。今後、介護保険利用者と元気高齢者の狭間にいる高齢者に対する事業展開が課題である。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・介護予防につながる施策は展開しているものの、情報周知等、十分でないと考えているので、そのニーズ調査を細かく実施分析したいと考える。

・いきいきサロンの利用が進んでいるので、今後、未設置地域に対して、啓発等を進めていく。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	福祉課	-	11,149	9,897	8,413	9,976	9,976
	○ 精華町敬老会	9,567	9,004	7,871	5,148	6,711	6,711
	一般事業 121	-	9,004	0	0	0	0
2	福祉課	-	12,492	11,765	11,751	14,711	14,711
	○ 高齢者居宅生活支援事業	13,306	8,911	8,311	8,143	11,103	11,103
	一般事業 121	-	8,911	8,311	8,143	10,303	10,303
3	福祉課	-	248,473	262,900	276,643	281,643	281,643
	○ 介護保険事業特別会計繰出金	193,187	245,683	260,164	273,525	278,525	278,525
	一般事業 123	-	245,683	260,164	273,525	278,525	278,525
4	福祉課	-	4,380	4,002	3,869	3,705	3,705
	○ 高齢者福祉施設整備支援事業	4,310	4,025	3,739	3,453	3,289	3,289
	一般事業 123	-	0	0	0	0	0
5	福祉課	-	9,565	9,453	9,709	11,851	11,851
	老人ホーム等入所措置	8,537	8,404	8,392	8,668	10,810	10,810
	一般事業 119	-	6,883	6,892	7,242	9,010	9,010
6	福祉課	-	4,411	6,521	4,844	4,895	4,895
	老人クラブ助成	3,051	3,050	3,050	3,050	3,101	3,101
	一般事業 121	-	984	986	985	1,035	1,035
7	福祉課	-	7,667	7,062	7,370	7,370	7,370
	シルバー人材センター運営支援事業	6,320	6,320	6,320	6,320	6,320	6,320
	一般事業 123	-	6,320	6,320	6,320	6,320	6,320
8	福祉課	-	1,922	1,891	1,843	2,122	2,122
	介護サービス利用支援事業	38	43	32	21	300	300
	一般事業 123	-	25	23	21	225	225
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・必要に応じた事業運営はできているが、サービス事業の啓発も含めて、まだまだ情報など周知が少ないように感じている。今後、高齢者に対する意識改革をするような新しい事業を見出す必要性があると同時に、実態を踏まえたサービス展開を考えていく必要性がある。

・いきいきサロンの全町域への拡大を進めていく必要性がある。

・2次予防対象者の約1割が予防講座に参加している現状の中、対象者の大半の方への周知等、再考する必要性がある。

5. <施策の今後の方向性>

・高齢者の声に耳を傾け、サービス向上を図る必要性があると感じつつも、今後、増え続ける高齢者人口と町財源が、どうバランスよく運用できるかが検討課題といえる。

・介護予防の充実に向けて、対象者が魅力を感じる予防講座等の内容修正を図る必要がある。